

令和5年度

こども園における自己評価

八尾市立西郡そよかぜこども園

4: 十分達成している 3: ほぼ達成している 2: 検討を要する 1: 改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	・前年度、誰もが心地よい環境づくりをめざし、日々の保育の中で丁寧に取り組んできたことで子どもたちの育ちあいが見られた。前年度積み重ねてきたことを今年度の研究テーマとした。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	・毎月のカリキュラム会議では、園児一人ひとりが自ら好きな遊びを見つけ心地よく過ごすことや発達に応じた育ちあいを意識したカリキュラムを作成した ・主体性を大切にしながら生活習慣も身につくように一人ひとり丁寧に対応している。今後も保護者と共に生活習慣の自立を目指したい。 ・子どもの姿を見取り、一人ひとりに合った援助を行えるよう同僚性を発揮し意見を交わしながら、環境構成や援助の工夫に努めている。 ・保育サポート児の環境整備・援助を丁寧に行いつつ、園児一人ひとりの個性を大切にする職員集団でられるようにインクルーシブ教育・保育を意識した日々の語り合いを大切にしてきた。 ・子どもの人権に十分配慮し、心豊かに育ちあえるよう何かが起こった時だけでなく、日々の子ども同士の対話に注視している。心動く瞬間を見逃さないよう、職員間の連携を大切にしている。
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	・栄養士の食育指導や農園での栽培活動を通して、楽しみながら食に興味・関心をもち、苦手な物も食べてみようとする姿が見られるようになった。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	・避難訓練では様々な内容や時間を想定し、毎月の危機管理の中で議論を重ね、子どもたちの命を最優先にした訓練を実施している。
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	・看護師の保健指導を通して、教えてもらったことを実践し自分の体を大切にしようとする心が育まれている。
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	・今年度、幼児は八尾助産師の会の方にきていただき、生命の授業を受けた。胎児や友だちの心音を聞いたり、赤ちゃん人形を抱っこしたりと様々な体験を通して生まれてきた喜びを感じ合うことができた。
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
職員の 資質向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	園内研究会をすることで子どもたちの興味・関心を多面的に見取り、一人ひとりにあった援助や環境を学び合うことができ、子どもたちが育ち合う保育を大切に職員同士の質の向上を図ることができた。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	・八尾市教育研究集会分科会において5歳児クラスの保育を公開し、小学校の教員と共に接続期について学び合うことができた。
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	・職場研修で事例を報告したことで保育の振り返りとなった。また、具体的な支援方法やクラス運営を学ぶことができ、職員全体でも学んだことを共有することができた。
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	4	・学習会では人権教育・保育、インクルーシブ教育・保育など毎回職員の悩みに寄り添った内容を実施したことで、全職員が参加し学び合うことができている。
職員運営について	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	・日頃から職員間のコミュニケーションを大切にしていることで、報連相が丁寧にできている。
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	・各種会議は計画通り進めることができ、職員の主体的な意見もたくさんでいた。
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	3	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守秘義務の遵守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	・公文書收受、発送、処理等は担当、管理職で必ず2重チェックを行い適切に行っている。
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・小・中学校、八尾北高校との交流では、双方で事前に交流の計画・ねらいをもったことで、互いに実りある交流ができた。また、1月には中学校の校庭をお借りし、風揚げを楽しみ5歳児が試行錯誤しながら風をとばすことを楽しめた。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	・自園の公開保育に小・中学校の職員に参加してもらうことで意見をいただき、互いの学びとなった。
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	4	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・子育ての悩みには日頃から担任が寄り添い、保護者と共に子どもたちの健やかな育ちのために連携をしている。また子育て支援コーディネーターを活用し、保護者の悩みにも丁寧に寄り添っている。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	・地域交流の「ひろば」に参加される保護者の子育ての悩みにも寄り添い、保護者同士がつながる内容を工夫してきた。
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	3	・今年度は毎年開催しているポートフォリオ展を地域の方にもお越しいただけるようにした。自園の教育・保育に興味・関心をもっていただけのように思う。これからも自園の教育・保育内容を地域に丁寧に発信していきたい。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	4	・ホームページでの発信にもさらに力を入れていきたい。
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	3	・関係諸機関に自己評価を開示し、ご意見をいただきながら次年度に活かしていきたい。
		・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	3	・行事後には保護者からアンケートをとり、次年度に活かしていけるように毎回丁寧に見直し、次年度にはできるだけ反映している。
施設・設備		・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	・施設の安全点検は職員・看護師・園長で月1回実施している。
		・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4	・様々な内容・時間で年間計画をたて、毎月1回避難訓練を実施し、実施後の危機管理会議の中で振り返り、課題を整理することで職員一人ひとりが危機意識をもって実施できている。
		・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4	
		・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4	
経理出納		・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4	・事務員・管理職の2重チェックで丁寧に実施している。

成果

・今年度は新型コロナウイルスも5類となり、異年齢での交流や小・中学校、高校、老人センター等々、様々な関係諸機関とも交流をすることができた。交流をすることでたくさんの方の前でも友だちと一緒に発表することの喜びを感じたり、愛される喜びを感じたりしながら、心が温かくなる交流がたくさんできた。また、参観や行事への参加の人数制限がなくなったことで、家族でお子さんの成長を喜び合う姿が見られ、子育ての喜びを感じてもらえることができた。

・5歳担任集団が「八尾市教育研究集会秋季分科会」での公開保育及び「接続期で大切にしていること」を報告した。こども園の職員だけでなく、小、中学校の教員の参加もあり、公開保育後の協議の中では互いの学校園での取り組みや子どもの様子を共有した。就学前からの学びの連続性を意識し、すべての子どもたちが安心して過ごせる仲間づくりを進めていくことの大切さを確認し合うことができた。

・今年度は心地よい環境の中で育ちあうことを大切にしてきた。「育ちあう＝インクルーシブ教育・保育」の疑問点や悩みを明確に共有する場面が増えたように感じる。ありのままの子どもたちを受け止めながら多面的に子どもたちを見取り、環境構成や援助するために職員同士がともに子ども一人ひとりの育ちにあった援助に努めていくことで、小さな育ちも喜び合い、学び合える職員集団になってきている。

課題

・さらに職員間の連携が深まるように、話し合う時間の工夫に今後も努めたい。

・自園がすすめている教育・保育内容をホームページやお手紙など様々な方法で情報発信していきたい。

改善策

・年間計画に基づき、園内研や事例研・学習会を通して、インクルーシブ教育・保育について職員間で学びあい、質の向上に向けて取り組む。

